

毎日の備えが、明日へ繋がる

～ひとりひとりが持つ地震への心得～

自らの命を守る行動を！

(1) 屋内にいたら

倒れかかる家具などから身を守るため、防災頭巾や座布団などで頭を保護しながら、テーブルや机の下に待避しましょう。さらに、ドアを開けるなど脱出路を確保し、懐中電灯等の明かりも確保しましょう。



(2) 屋外にいたら

建物やブロック塀の倒壊や窓ガラスの落下などの危険を避けて、空地などの安全な場所に避難しましょう。

(3) 海辺にいたら

海のそばで大きな揺れを感じたら、ラジオやテレビの情報に注意しながら、津波警報や避難勧告が出る前でも、自らの判断で近くの高台や頑丈な施設の上に避難しましょう。

また、津波の前に海水が大きく引いていく、引波現象が起こる場合があります。海の様子を見に行くような行動をとらないようにしましょう。

被害の拡大を防ぐ行動を！

(1) 火災の拡大を防ぐ

地震の際、火元の確認と初期消火に努めることは被害の拡大を防ぐ基本です。また地震により止まった電気が供給された際、つけっ放しのアイロン等に電気が流れるなどして火災が発生（通電火災）することもあります。避難をする際には、電気ブレーカーを落としましょう。



(2) 交通の混乱を防ぐ

地震により道路が寸断されている恐れや、救急・救助・消火活動のための緊急車両の通行を妨げる恐れがありますので、自家用車で避難はやめましょう。

また、発災時に自動車を運転している場合は、道路端に停車し、ラジオなどで情報の収集を図りましょう。車を離れて避難するときには、救急・救助・消火活動等の支障とならないよう、キーをかけたままにしておきましょう。

助け合いの行動を！

お年寄りや身体障がい者の方、妊婦の方や小さな子供達などは、避難の際に周りの手助けがどうしても必要です。自らの身の安全を確保するとともに、可能な限り近所の手助けを必要とする方の援助を行いましょう。



(有料広告)

長万部町の皆さまへ 安心でおトクな電気をお届けします。

北ガスの電気

従来の電気料金より
「電力量料金単価」が

全区分
3%おトク！

解約手続きも手数料も一切不要
解約・違約金もかかりません！

北海道電力所定電灯日（2019年1月現在）から切替した場合

「北ガスの電気」は北海道内で13万件以上※1
全ての市町村※2（離島を除く）でご利用いただいています

※1 2018年末現在

※2 2018年2月9日現在



多くの施設で「北ガスの電気」をご利用いただいています



長万部町役場



長万部町立病院



長万部中学校



長万部町給食センター

電気に関するご相談は無料です。お気軽にお電話ください。

北海道ガス株式会社 第二営業部
フリーダイヤル 0120-008-522（平日9:00～17:00）
施設や動力など、ご自宅以外の電気料金の試算も承ります。